

2010.7

シルバー こうべ

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 (サンパル10階)

●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066

●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181

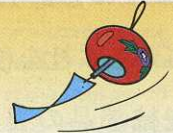
●西部センター／621-6880 ●本 部／252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>



7月は安全就業月間です! 「事故ゼロ」を目指して



全国シルバー人材センター事業協会の統計資料で、最近5年間のシルバー保険にかかる傷害事故の発生状況を見ると、事故者率は減少傾向にあります。

しかしながら、重篤事故(死亡または6ヵ月以上の入院)の発生件数は前年度を上回り57件となり、なかでも就業途上の事故が29件と過去最高の状況となっています。

一方、神戸市シルバー人材センターでは、幸い重篤事故の発生はありませんでしたが、残念ながら「事故ゼロ」にはなっていません。事故者率で見ると、まだ全国平均に比べて低い率にありますが、いつ大きな事故が起こっても不思議でない状況になっています。

重篤事故の推移
(全国シルバー人材センター)

年度	就業中	就業途上	計
17	25件	28件	53件
18	29件	28件	57件
19	29件	24件	53件
20	35件	18件	53件
21	28件	29件	57件

傷害事故の推移
(神戸市シルバー人材センター)

年度	就業中	就業途上	計
17	35件	11件	46件
18	36件	7件	43件
19	47件	9件	56件
20	39件	11件	50件
21	32件	8件	40件

神戸市シルバー人材センターの平成21年度の傷害事故で多いのは、階段の踏み外しなど不注意による「転倒事故」、2位が安全確認不足等による「裂傷などの事故」、3位が「交通事故」となっています。

これらの事故のほとんどは、作業への慣れや油断が原因となっています。

また、このような傷害事故以外にも、除草作業中の飛び石による賠償事故も多発しています。飛び石による事故は幸いなことに物損でのみ発生していますが、これらが人身事故になる可能性もあります。

センターでは事故を未然に防止するため、安全パトロールの実施、交通安全講習会、職種別就業懇談会など様々な取組を行い事故の未然防止に努めていますが、一番大事なことは、会員一人ひとりが安全就業を心がけていただき、「安全・安心」をモットーに「事故ゼロ」を目指していくことです。

「作業安全心得12か条」

安全第一 健康第一

- ①作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。
- ②使用機具類は使用前に必ず点検すること。
- ③服装や履物は作業にあった動きやすいものにする。
- ④作業前に軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- ⑤自分の体力や体調を十分把握し無理しないこと。
- ⑥作業現場は常に整理、整頓に心がけること。
- ⑦共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。
- ⑧帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- ⑨健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。
- ⑩仕事の前日には、十分睡眠をとるよう心掛けること。
- ⑪酒気を帯びての就業は絶対に慎むこと。
- ⑫火気については十分注意し、タバコは灰皿のある所定の場所で喫煙すること。

配分金支払日のお知らせ

6月分	7月分	8月分	9月分	10月分
7月15日(木)	8月16日(月)	9月15日(水)	10月15日(金)	11月15日(月)



NC旋盤に熟練の技を生かして

株式会社 兼廣

第2神明道路大蔵谷インターから車でしばらく西へ走った西区伊川谷町の神戸鉄工団地。その一角に明るいおしゃれな色のビルがあります。「兼廣」の本社工場です。昨年春、明石市から本社を移し、商社機能とともに建設機械部品や産業機械部品の製造を中心とする新たな事業展開に取り組んでいます。

1952年(昭和27年)金物店として明石市でスタートした同社は商社へと発展する一方、技術的に難しい建設機械車体部品の製造を手がけるようになり、現在ではショベルカーやクレーンの部品メーカーとして知られ、優れた技術力は業界で高い評価を受けています。そして工場の生産システムで高品質、高性能部品づくりに威力を発揮しているのが「NC旋盤」なのです。

「旋盤」は工作物をロクロのように回転させながら工具をあてて削る機械のこと。「NC旋盤」は旋盤に数値制御装置を取り付け、工作物の移動距離や送り速度をコンピューターで数値化し、指示することで製



工場内作業風景

造するのです。この方法によって製品は、精密で同質のものが沢山できるほか曲面、球面加工もしやすいなどの特徴があります。しかし、機械を扱うのは人。材料等が異なるため、その腕次第で精度がまちまちになることが多く、NC旋盤を操作するのは簡単ではないのです。

その工場ですべてのシルバー会員が活躍しています。72歳になる碓永さんです。新工場ができた昨年からお世話になっています。現役として約30年間旋盤に携わり、NC旋盤技術も身につけているため、工場では大変重要な存在なのです。碓永さんは週4日ほど就業。NC旋盤の“頭脳”である操作盤に工作手順に従ったプログラムを打ち込んで可動させるなど日々の仕事をスムーズにこなし、出来上がった製品はさすがにベテランの作。

就業先では「いわゆる“目利き”は若い人にはなかなか難しく、碓永さんはそこをきっちりこなしていただいております、良い製品づくりにつながっています。」とのことでした。また、碓永さんは「これまでの技術と知識を活かすことができ、本当にやりがいを感じています。」と元気で働けることに感謝しながら意欲的でした。



株式会社兼廣本社工場

